

- 徳島環状線(新浜八万工区)の供用3ヶ月後の交通量は、供用前から**約2割増加**。
- 徳島環状線と重用していた徳島小松島線の供用3ヶ月後の交通量は、供用前から**約1割減少**。
- 周辺道路の利用者は、「小松島方面から昭和町へ向かう際の混雑が緩和された。」とその効果を実感。

【位置図】



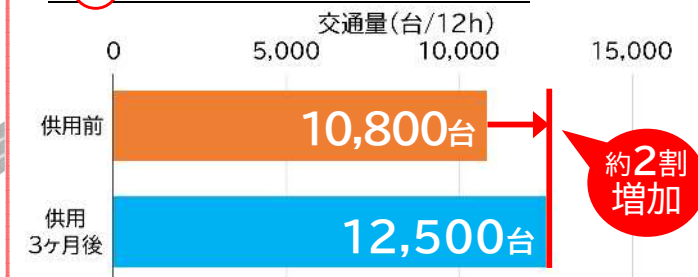
【周辺拡大図】



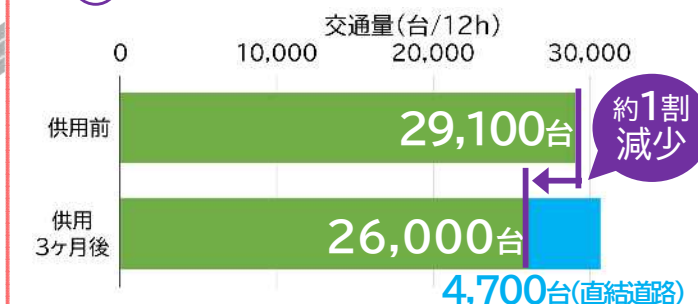
【交通量の変化】

資料)交通量調査結果
供用前:R3.3.11(木) / 供用後:R3.7.6(火)

●「(A) 断面:新浜八万工区」の交通量



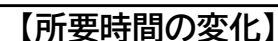
●「(B) 断面:徳島小松島線」の交通量



- 以前は、異なる道を利用していましたが、4車線化されたので、この道をよく通るようになりました。走りやすく助かっています。
- 小松島方面から昭和町へ向かう際の混雑が緩和されたように思います。高速道路が繋がれば、よりスムーズになると思うので、早期完成を期待します。

道路利用者の声

【位置図】



●大野交差点→末広大橋北詰交差点の所要時間



道路利用者の声

- 末広方面に通勤で利用しています。以前は交差点を2つ通過しなければならず、いつも渋滞していましたが、今は混雑もなくストレスなく通勤できています。
- 10分ぐらい早く会社に着くことができ、一日の準備に余裕を持つことができるようになりました。

○「**末広道路と直結する道路**」や「**4車線化**」が供用されたことにより、徳島環状線(新浜八万工区)と徳島小松島線との交差点西側で慢性的に発生していた**混雑がほぼ解消**。

○周辺住民の方は、「**混雑がなくなってスムーズに走れるようになった。**」とその効果を実感。

【周辺拡大図】

【混雑状況の変化】

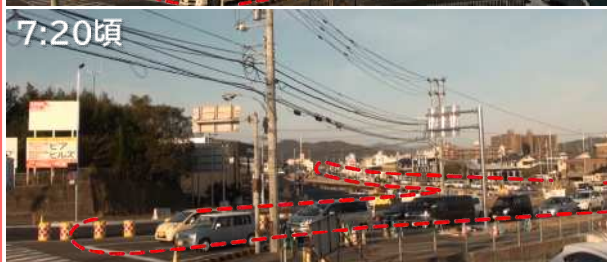
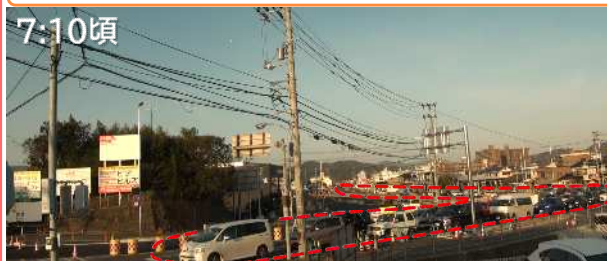
資料) 定点観測結果

供用前: R3.3.11(木) / 供用後: R3.7.6(火)



供用前

- 7時を過ぎた頃から混雑が発生
- 7時20分頃には混雑が長大化し9時頃まで継続



供用3ヶ月後

- 交通量は増加したものの「末広道路と直結する道路」や「4車線化」の供用により混雑はほぼ解消



「4車線化」等の供用前と供用3ヶ月後との朝の通行状況を対比した動画を公開中



周辺住民の声

- 朝夕は混雑が酷く、その列が交差点を跨いで並んでいたため、なかなか市道から環状線に入れませんでした。が、すいぶん解消されたと感じています。
- 商業施設へ出入りする車が多く、スムーズに走れませんでした。が、4車線化され解消されたように思います。
- 以前は、歩行者が路肩を歩いていることも多く、危険に感じることもありましたが、今は歩道が整備され、安全に通行できます。